

令和2年度 第1回理事会議事録

日時 令和2年8月19日(水) 14:00～
場所 あこや会館1階ホール
出席 居鶴 一彦(出) 植木 哲也(出) 鈴木 貴志(出) 加藤 裕之(出) 國井 徹(出)
 夔田 耕一(出) 樋口 悦子(出) 高橋 勝也(出) 佐藤 直仁(委) 伊藤 久美(出)
 長澤 彩(出) 白田 美香(出) 田中 静佳(出) 門間 美穂(出) 大江 雅宏(出)
 阿部 宏美(委) 古城 尚子(出) 高橋 裕美(委) 齋藤 裕(出) 荒生 聖子(委)
 高橋 郁子(出) 玉井 真実(出) 小川 一弥(出) 鈴木 智美(出) 長澤ゆきえ(出)
議長 居鶴 一彦
書記 國井 徹

○ 報告

初めに、居鶴会長より代表理事及び日臨技理事・北日本支部幹事就任の挨拶があり、理事及び監事に委嘱状が手渡された。

1. 会長報告／日臨技・北日本支部

- ・山臨技第47回定期総会は書面表決での議決となり、議案について全て承認された。議案書は今年度は各施設1部ずつの配布とした。質問、意見についても回答し開票結果と共に開示した。
- ・日臨技総会議決について、山形の投票率は約70%であり、例年投票率の低い施設が3施設ほどある。日臨技より投票率に応じての入金もあり、各施設投票を促すようお願いしたい。
- ・山形県生活習慣病検診等管理指導協議会委員として以下の3名に委嘱した。
 消化器部会 山形県立中央病院 森谷美香 氏
 子宮がん部会 山形県立中央病院 渡邊いづみ 氏
 肺がん部会 鶴岡市立荘内病院 鈴木俊市 氏
- ・臨床検査振興協議会から保険点数改定要望項目の調査依頼あり。
- ・学術部の各部門長、分野長は資料の通り決定した。
- ・日本医学検査学会は9月に延期。WEB併用開催(10月)。
- ・日臨技の認定試験は中止。
- ・5月27日に山臨技業務執行理事会を開催。6月4日に北日本支部幹部会をZoomにて、7月4日日臨技理事会、8月13日に日臨技タスクシフティングについての会議等が開催され会長が出席した。

2. 各地区(村山／庄内・最上／置賜)

各地区：今後の状況を見て検討する

3. 各部(庶務／会計／学術／企画)

庶務部：現状でできる部分の引継ぎを行った。
会計部：各部門へ活動費を渡す。
学術部：6/19部門長会議を開催した。
企画部：全国検査展は中止となった。

4. 各委員会(生涯教育／精度管理・データ標準化／「山形医学検査」編集／ホームページ)

生涯教育：各部門の研修会はWEB研修でも、補助金と生涯教育点数がつくので生涯教育委員ま

で連絡ください。

精度管理・データ標準化：山臨技サーベイ 7 月中に実施済。細菌検査の菌株培養は中止となった為、当初の金額から 500 円を引いた額を請求する。新型コロナウイルスの状況にもよるが、年度内に精度管理報告会を開催したい。

医学検査編集：7 月に編集委員会を開催、8 月末に Vol.29 No.2 発行予定。10 月に No.3 発行予定。

ホームページ：業務の引継ぎを行った。

○議題

1. 今年度の活動について

理事会は例年 7 月 8 月を除きほぼ毎月開催していたが、今年度は例年通りできる状況にない。学術活動についても内容を変更しながら実施していく予定。

2. 新型コロナウイルス関連について

- これまでの対応等について経過を報告。日臨技の WEB 研修は県内で PCR39 名、検体採取は 4 名修了 (8/19 現在)。県からの委託により実技研修を行うが (現在県と協議中)、実技研修は WEB 研修修了者が対象となる。PCR 検査を実施している施設で WEB 研修受講者がいない所があるため、是非受講していただくようお願いしたい。
- 新型コロナウイルス感染症の発生から中止されていた日臨技の「検体採取に関する厚生労働省指定講習会」の受講が 11 月より再開される。県内でも未受講者がおり、可能ならそちらの受講も併せて願う。
- 県立中央病院の鈴木裕氏 (染色体・遺伝子部門長) を新たに「新型コロナウイルス感染症対策委員」に任命したい ⇒ 承認された。

3. 今年度の学術活動について

- 各部門の研修会は WEB を利用した試みを予定している。学術部主催の研修会については未定であるが、例年年度末に行っているため、状況を見て判断したい。

4. WEB 研修会の参加費について

- 研修会を WEB にて開催した場合の参加費は無料とする方向で行う。Zoom (有料コース) などの契約費や必要な機材等は山臨技として負担する。

5. その他

- 厚労省から依頼の臨床検査技師への業務の移管や共同化に係る意向調査について、山臨技からは県内 12 施設へ依頼する。

○連絡事項

- 山臨技事務所 事務員松田さん 11:00~15:00 くらいの時間で事務所在室している
- 事務所の鍵は松田さんの他に、居鶴会長、植木副会長、國井庶務部長が持っている。
- 現在の事務所が手狭な為、もう少し広い物件を探している。所有ではなく賃貸の方向で検討中。
- 会議等での交通費申請、また高速道路利用した場合の明細書は交通費担当の門間理事まで。

○その他

- 次回理事会 (令和 2 年度 第 2 回) : 未定

令和2年度 第2回理事会議事録

日時 令和2年11月18日(水) 14:00～
場所 あこや会館1階ホール
出席 居鶴 一彦(出) 植木 哲也(出) 鈴木 貴志(出) 加藤 裕之(出) 國井 徹(出)
 夔田 耕一(出) 樋口 悦子(出) 高橋 勝也(出) 佐藤 直仁(出) 伊藤 久美(出)
 長澤 彩(出) 白田 美香(出) 田中 静佳(出) 門間 美穂(出) 大江 雅宏(出)
 阿部 宏美(出) 古城 尚子(委) 高橋 裕美(委) 齋藤 裕(委) 荒生 聖子(委)
 高橋 郁子(出) 玉井 真実(委) 小川 一弥(出) 鈴木 智美(出) 長澤ゆきえ(出)
議長 居鶴 一彦
書記 大江 雅宏 田中 静佳

○ 報告

1. 会長報告／日臨技・北日本支部

居鶴会長より資料に基づき報告がなされた。要点は以下のとおり。

- ・ 宮島会長の昨年4月に拝命した財務大臣政務官は内閣交代により9月に退任となり、新たな職務について報告があった。財務大臣政務官退任により、日臨技の職務については従来通りの会長職に戻るとのこと。
- ・ 厚労省より医療機関のタスク・シフティングに関する調査依頼を受け、県内の該当施設に回答の協力をいただいた。今後、輸血に関する業務や心臓・血管カテーテル検査、治療における直接侵襲を伴わない検査装置の操作(超音波検査や心電図検査、血管内の血圧の観察・計測等)などの分野において業務が拡大されていくと思われる。
- ・ 日臨技より各賞受賞候補者の推薦依頼が届いている。資料にある要綱に該当する方がいれば推薦していただきたい。秋の叙勲については推薦していない。
- ・ 11月28日、日臨技臨床検査精度管理総合報告会が開催される。日臨技および山臨技の精度管理で許容正解を外れた施設においては速やかに是正をお願いしたい。
- ・ 厚労省より検体検査の精度確保のための精度管理実態調査の依頼があった。今回は比較的規模の大きな病院を除くいくつかの施設へ回答を依頼する。
- ・ 日臨技北日本支部 臨床一般検査部門員の森谷美香氏(県立中央病院)においては、職務遂行が困難な状況となったことから、前任者の佐藤美由紀氏(山形大学付属病院)と部門員変更を日臨技へ依頼している。

2. 各地区(村山／庄内・最上／置賜)

各地区：今年度は例年通りできる状況になく、活動なし。

庄内・最上—今後、Zoomを利用した開催を検討している。

3. 各部(庶務／会計／学術／企画)

庶務部：今年度は役員の改選があったため、法務局への手続きを行っている最中である。また、押印廃止が進められている中ではあるが、理事会出席等、これまで押印を必要としてきた事項に関しては例年通り実施していく。

会計部：病理細胞部門の研修会における講師への講演料を支払い済みである。講演料については会計へ申請することとなっているが、山臨技 HP 上の申請先が前年度のままとなっているため、現会計部長名に変更をお願いしたい。→11/19HP 更新済。

学術部：10/24 病理部門研修会（Zoom）：39名参加。生涯教育点数加算および修了証発行済み。
12月上旬～ 輸血部門研修会
12/4 微生物部門研修会（Zoom）
12/5 総合・学術部門研修会（Zoom）
12/20 血液部門研修会（Zoom）

企画部：山形県公衆衛生学会より負担金増額の依頼があった。依頼のとおり支出する。

4. 各委員会（生涯教育／精度管理・データ標準化／「山形医学検査」編集／ホームページ）

生涯教育：10/17に開催された「細胞学会総会並びに成人病検診従事者講習会」は日臨技に参加登録を行った。10/24に開催された病理細胞部門研修会については、11/30に助成金の入金が決めている。12/20の血液部門研修会については、今後申請する。

精度管理・データ標準化：山臨技サーベイ実施済。8月末には編集委員会に結果を送り、10/30にHP上で開示した（11/6病理を含め再開示）。

居鶴会長－精度管理報告会は来年2月までに有料の広い会場で開催する方向の考えであることが示された。

医学検査編集：10月にNo.3発行済み。次号は2月末発行を予定しており、論文や研修会レビューの投稿をお願いしたい。氏名・連絡先に変更あればメールで連絡をお願いします。

ホームページ：各部からの連絡で会計部より依頼のあった更新の件について了解した（11/19更新済）。HPに掲載したい事項があれば連絡下さい。

○議題

1. 新型コロナウイルス感染症について

- ・日臨技のWEB研修は県内でPCR 92名、検体採取は4名修了。（日臨技の「検体採取に関する厚生労働省指定講習会」は11月より東京会場のみで再開される。）
- ・県からの委託によりPCR検査等実技研修を山形県衛生研究所及び県立中央病院の協力のもと実施した。山形県衛生研究所で行われた行政検査支援コースには3名、県立中央病院で行われた機器新設コースには19名が参加した。

國井理事－自施設でPCR検査を担当しており、行政検査支援コースに参加した。バイオセーフティや検査手技について研修したことを生かして、実際の業務の改善につなげていきたい。

居鶴会長－山臨技が把握している限りでは、県内のPCR検査実施施設は7施設。PCR検査をしていない施設においても検体の取り扱い等は行っていると思う。12月に行われる総合・学術部門研修会ではPCR検査に関する意見交換が行われるのでぜひ参加いただきたい。

- ・新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める政令に一部改正があったので、各自資料を確認いただきたい。

2. 一般社団法人移行途中経過について

- ・山臨技は2012年に公益社団法人から一般社団法人へ移行しているが、公益社団法人の時と同様、公益目的支出計画に基づく監督官庁への報告を毎年続けている状況にある。
- ・公益法人から移行した時点での正味財産を一般社団法人に移行後、計画的に「公益目的」に支出し、完了させる（正味財産を使い切る）まで報告義務は続いていくことを共通認識としていただきたい。

- ・ 北日本支部として組織されて以降、学会運営に掛かる費用は日臨技より支出されているため、残余財産を減らすことが難しくなっている。
- ・ 今後、研修会等で使用する会場にディスタンスの取れる広い施設を有料借用することや、「山形医学検査」のカラーページ増設などで残余財産を計画的に減らしていく必要がある
- ・ 理事への役員報酬新設について、次回までに理事の皆さんからご意見をいただきたい。他県の状況も調査し、たたき台として使えるか検討していく。

各地区部長—私的な時間を割いて技師会活動を行っている現状を鑑みると、ある程度の役員報酬があってもいいのではないかと考える。詳細については今後の議論で詰めていく必要がある。

3. その他

- ・ 植木理事—令和2年度精度保証施設認証制度認証基準の審査要求事項の変更について情報はあるか。

居鶴会長—ISO等を取得していなくても診療加算が取れるようにして、認証レベルを上げていく流れになっている。更新及び新規認証の際は新基準が適用となる。

○連絡事項

- ・ 居鶴会長：保健衛生関係功労者山形県知事表彰候補者、栄典候補者について該当する方いれば推薦していただきたい。山形県知事表彰候補に県職員は該当せず、栄典候補者に関しては山臨技副会長以上の職務経験で推薦している。
- ・ 居鶴会長：精度管理報告会を2月までに開催する予定である。開会前の30分で功労賞、奨励賞各々表彰する式典を設けたい。
- ・ 庶務部：今年度で技師会を退会する予定の方は1月中までに手続きをしていただきたい。山臨技には退会届を提出、日臨技はWeb上で退会の手続きとなる。

○その他

- ・ 次回理事会（令和2年度 第3回）：令和3年2月中、あこや会館での開催を予定。
-

令和 2 年度 第 3 回理事会

1 招集日時	令和 3 年 2 月 28 日 (日)	13:30～
2 開催日時	令和 3 年 2 月 28 日 (日)	13:30～
3 開催場所	山形ビッグウイング 4 階研修室	
4 出席役員	理事	居鶴 一彦 植木 哲也 鈴木 貴志 加藤 裕之 國井 徹 彦田 耕一 樋口 悦子 高橋 勝也 佐藤 直仁 伊藤 久美 長澤 彩 白田 美香 田中 静佳 門間 美穂 大江 雅宏 阿部 宏美 古城 尚子 高橋 裕美 齋藤 裕 荒生 聖子 高橋 郁子 玉井 真実
	監事	小川 一弥
	(総理事数 22 名、監事数 3 名)	
	議長	居鶴 一彦
	書記	國井 徹

5 議事

本理事会は、理事 22 名のうち 22 名が出席であり、定款第 33 条に基づき理事会における議決が成立することが確認されたのち、議事に入った。

○ 報告

1. 会長報告／日臨技・北日本支部

日臨技理事会、北日本支部幹事会の内容について別紙資料をもとに報告があった。

- ・タスクシフトに関し、今後 8 項目について研修会が 5 年にわたって開催される。
- ・学生の臨地実習を受け入れている施設は、今後臨地実習指導者が配置されていることが求められる。
- ・日臨技「精度保証施設認証制度」が「品質保証施設認証制度」へと変更され、最大 10 部門の認証となり、将来的には日臨技精度管理責任者講習修了者がいることが必須要件とされる。
- ・日臨技、支部研修会の Web 講習会システムが改修された。
- ・日臨技学術奨励賞（特別奨励賞）に山形済生病院の鈴木亜里沙技師が選出された。
- ・令和 3 年度の北日本支部医学検査学会は Web での開催となる。

2. 各地区（村山／庄内・最上／置賜）

各地区：特になし

3. 各部（庶務／会計／学術／企画）

庶務：1 月に現役会員の訃報があり、弔事の対応を行った。2/13 の地震の被害状況の報告の案内をしているが、現在まで被害報告なし。

会計：今年度の各事業の会計報告と残金の回収をした。

学術：今年度、染色体遺伝子部門を除く 8 部門で研修会を行った。遺伝子部門については、県からの受託事業である新型コロナウイルスの PCR の研修会を行っている。

企画：山形県公衆衛生学会に¥20,000、子宮頸がんを考える市民の会に¥30,000 の助成金を支出した。

4. 各委員会（生涯教育／精度管理・データ標準化／「山形医学検査」編集／ホームページ）
生涯教育：今年度の研修会について、全て生涯教育推進研修会として認められた。
精度管理・データ標準化：本日、精度管理報告会開催。来年度は新型コロナ PCR のサーベイも実施したい。
山形医学検査編集：2月末に Vol.30 No.1 発行済
ホームページ：病院紹介を2施設に依頼している。
5. その他から
テイジンの「睡眠時無呼吸症候群についての研修会」について共催であることを報告。

○議題

1. 医師働き方改革におけるタスクシフティング/シェアなど医療勤務環境改善について
日臨技宮島会長より web 講演がされた。臨床検査技師に対するタスクシフティング/シェア業務（8項目）が示され、令和3年度から5年間での厚生労働省指定講習会となる予定であり、各県担当で研修を行わなければならない。開催準備として、まず各施設の末端の技師まで周知をしなければならない。
「技師長・責任者会」などを開催して周知を図ることと、植木副会長が担当し進めていくことを議長が一同に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。
2. 公益目的支出計画の変更及び申請について
公益目的支出額が計画当初見込みよりも少ないため、当初の実施期間9年間での支出計画が完了しなくなったことから、公益目的支出計画変更認可申請書により、実施期間を6年延長する申請について説明があり、議長が一同に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。
3. その他 特になし

※連絡事項

来年度の活動予定について

- ・理事会…4月中旬に開催予定。
- ・定期総会…6月開催予定。
- ・山形医学検査学会…例年2日間にわたり開催しているが、1日で行うか。
公共の広い施設でソーシャルディスタンスを取り行う。
- ・70周年記念事業については、冊子作成のみとする方向で検討する。